

令和4年度 事業報告

1 概況

国の経済報告によると、景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しており、雇用情勢も、持ち直しているとされている。

しかしながら、本センターの事業実績は、これまでの継続雇用制度の運用や企業での70歳までの雇用の努力義務化の影響などに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響も受け、大変厳しいものとなった。

まず、請負契約では、受注件数は、16,053件となり、前年度に比べ1,060件、6.2%の減少、受注金額は、500,347千円となり、前年度に比べ29,025千円、5.5%の減少となった。

一方、派遣事業では、受注件数は、880件となり、前年度に比べ138件、13.6%の減少、受注金額は、96,501千円となり、前年度に比べ6,871千円、6.6%の減少となり、これを前述の請負契約にかかる実績に加えた本センター全体の受注状況で見ると、受注件数は、16,933件となり、前年度に比べ1,198件、6.6%の減少、受注金額は、596,848千円となり、前年度に比べ35,896千円、5.7%の減少となった。

会員数については、令和4年度末で1,443人となり、前年度末に比べ75人、4.9%減少するとともに、高齢化が進行した。

会員の確保策としては、表彰制度の運用拡大による1人1会員入会運動の推進、入会時期に応じた初年度年会費の減額制度やゴールド会員制度の運用など、コロナ禍後を念頭に施策の推進に取り組んだ。

また、国の「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」の活用や、高年齢者雇用安定法に基づく派遣事業の拡大措置の有効活用にも努めた。

一方、昨年度に引き続き、街頭啓発活動などの周知・啓発活動を中止するなど、就業機会の拡大に向けた取組などにも、感染拡大の影響を受けたが、感染防止対策を徹底する中、本センター独自のシルバーフェアを開催し、会員の作品展などによる会員間の交流やシルバー事業の啓発に努めた。

安全就業に関しては、感染防止対策を徹底する中で、安全パトロールや草刈・剪定講習会を、また、3年ぶりに安全講習会を実施するとともに、飛散防止ネットなどの安全対策用具の整備・普及や、事務局だよりなどを通じた安全就業の周知・啓発にも努めた。

一方、令和4年度シルバー保険適用の傷害・損害賠償事故件数については、昨年度に比べ減少したものの、除草作業中の飛散損壊事故が依然として多く発生したことから、事故当事者等にヒアリングを実施するなど、事故の分析、安全意識の高揚に向けて取り組んだ。

適正就業に関しては、就業先への定期的な巡回調査を実施するとともに、就業機会の公平化・均衡化を推進するなど、会員の適正就業の推進に努めた。

併せて、事業者として、飛沫感染・接触感染の防止対策を講じるとともに、会員に対して、「三密」の回避やマスク着用、手指消毒の徹底などを周知・啓発するなど、感染防止対策に取り組むほか、派遣労働会員の派遣先労働者との同一労働・同一賃金の定着など、公益社団法人として適正な事業運営に努めた。